

東海支部

繊維講演会 & 岐阜県産業技術センター研究成果発表会

【日時】平成 29 年 4 月 21 日（金）13.30～16.30

【会場】岐阜県産業技術センター 3F 講堂（岐阜県羽島郡笠松町北及 47）

【内容】

1. あいさつ

2. 講演（13.40～15.10）

「表示者の為の新 JIS L001 の共通認識と取扱い表示記号の運用について」

ニッセンケン品質評価センター アドバイザー（元イトキン株式会社） 山本雅彦

2016 年 12 月 1 日より新 JIS L0001 が適用され、繊維製品の取扱い絵表示（ケアラベル）についても国際規格（ISO）に整合した新記号に切り替わりました。2017 年春物より全て新表示に切り替わることとなります。講師は新表示のガイドラン策定に参画されており、旧 JIS と新 JIS の違い、新表示記号の意味、ガイドランが示す製品別の表示方法などについて、表示者の立場に立って詳しく解説していただきます。

3. 研究成果発表会（15.25～16.15）

（1）「軽量・高保温性繊維素材の開発」

専門研究員 中島孝康

羽毛の代替品となるような軽量で保温性の高い繊維素材の開発を目指して試作を行いました。

（2）「炭素繊維複合材料（CFRP）用繊維状中間材料の開発」

主任専門研究員 林 浩司

マトリックス樹脂にポリプロピレンを使用した炭素繊維複合材料の物性を向上させるため、炭素繊維を熱可塑性繊維でカバーリングした繊維状中間材において、接着性・含浸性を向上させる検討を行いました。

（3）「美濃和紙を用いた機能性紙系の開発」

主任専門研究員 山内寿美

美濃和紙に木質系粉末を混入し、機能性を持った紙系を作製しました。

（4）「環境対応型ハロゲンフリー難燃繊維の開発」

専門研究員 立川英治

非ハロゲン系難燃剤を混練したポリエステル繊維を熔融紡糸し、その難燃性とその他の物性を評価しました。

4. 所内見学（希望者のみ）

【主催】日本繊維機械学会東海支部、岐阜県産業技術センター

【参加費】無料

【申込】企業名・機関名、住所、TEL・FAX、所属部課・役職、氏名をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

【問合せ・申込先】岐阜県産業技術センター 繊維部 奥村・立川

TEL.058-388-3151, FAX.058-388-3155